

ほらりす

IBARAKI Diversity *Polaris*

一人ひとりが尊重され、
誰もが個々の能力を發揮できる
ダイバーシティ社会を目指して



- ◆ 講演会参加者募集
- ◆ 「いばらきダイバーシティスコア」とは…
- ◆ 茨城県男女共同参画に関する県民の意識と実態に関する調査



募集

申込期限 1/14

県民

ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会in那珂市

テーマ 物語に込めた願い 今を生きる女性たちへ
～「ガラスの天井」の向こう側～



講師

脚本家・小説家 吉田 恵里香氏

参加無料
要事前申込

手話通訳
託児あり

1
31
土

日 時 2026年1月31日土
13:30~15:15(12:30開場)

場 所 那珂市総合センターらぽーる

[プロフィール]

1987年生まれ。神奈川県出身。主な脚本執筆作に2024年度前期連続テレビ小説『虎に翼』、映画『ヒロイン失格』、ドラマ『30歳まで董貞だと魔法使いになれるらしい』『君の花になる』などテレビドラマから映画アニメまで数々の作品の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。アニメ『ばっち・ざ・ろっく!』で第9回 ANIME TERNDING AWARDS 最優秀脚色賞を受賞。執筆した小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』などがある。



インタビュー

元NHKアナウンサー
武内 陶子氏

詳しくはダイバーシティ推進センター
ホームページをご覧ください▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/event/event-77.html>



募集

女性活躍・働き方応援シンポジウム

2
20
金

県民

企業

テーマ 女性が活躍する組織・社会をどうつくるか(仮)

日 時 2026年2月20日金
12:00~14:20 (11:30開場)

場 所 茨城県庁9階講堂

内 容 茨城県女性リーダー登用先進企業の紹介・表彰
ダイバーシティ&インクルージョンに関する講話
村木 厚子氏による基調講演(オンライン生配信)

参加無料
要事前申込

オンライン参加
可能

講師

全国社会福祉協議会会長
村木 厚子氏



詳しくは、「あなたにエール!いばらき女性活躍・
働き方応援ポータルサイト」に掲載予定です▶

<https://yell.pref.ibaraki.jp/seminar-event/symposium2026.html>



募集

県民

ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会in龍ヶ崎市

テーマ ラミレス夫妻が伝える

～みんな違ってみんな最高!多文化ライフのススメ～

参加無料
要事前申込

手話通訳
あり

3
14
土

日 時 2026年3月14日(土)
13:30~15:15(13:00開場)

場 所 大昭ホール龍ヶ崎

[プロフィール]

アレックス・ラミレス 氏
1974年10月3日生まれ、ベネズエラ出身。MLBでのプレーを経て、2001年来日。2年連続リーグMVPに輝くなど数々のタイトルを獲得。また、外国人選手として史上初となるNPB通算2000本安打を達成し名球会入り。監督としては横浜DeNAベイスターズを日本シリーズに導くなど、輝かしい功績を残し、2023年、日本野球殿堂入り。

ラミレス 美保 氏
1982年5月14日生まれ、東京都江戸川区出身。夫は横浜DeNAベイスターズ前監督のアレックス・ラミレス。第一子がダウン症児として誕生したことをきっかけに2019年、一般社団法人VAMOS TOGETHERを夫アレックス・ラミレスと共に設立。自身のスペシャルニーズを持つ親としての経験をもとに共生社会を目指す活動をしている。



詳しくはダイバーシティ推進センター
ホームページをご覧ください▶



<https://www.diversity-ibaraki.jp/event/event-78.html>

講師

一般社団法人 VAMOS TOGETHER
アレックス・ラミレス 氏
ラミレス 美保 氏

※やむを得ない事情により、事業内容・日程の変更または中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

今後の予定については、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。詳しくはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/event.html>



鈴木おさむ氏 守谷市で講演～「円の外」で見つけた新たな縁～



2025年9月20日に、守谷市と連携し、スタートアップファクトリー代表の鈴木おさむさんをお迎えして講演会を開催しました。当日は、県内外から抽選で選ばれた337名が会場に集まり、おさむさんの笑いあり、涙ありのトークに耳を傾けました。おさむさんは、多くの人気番組を手がけたご経験を振り返りながら、「人との縁の大切さ」についてご講演くださいました。



人生の転機には必ず人とのつながりがあり、背景の異なる人々と関わることで新たな価値が生まれること、勇気を出して自分のルーティンを壊して行動すると縁が広がっていくことなど、ダイバーシティ社会を考えるうえで大きな気づきをいただきました。

【マークの説明】

県民

すべての
県民対象

学校

小・中・高等学校等
学生対象

企業

企業対象

市町村

市町村対象

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進

茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」では、
ダイバーシティ社会の実現に向けて様々な事業を実施しています。

- 人材の定着・確保を図りたい
- 持続可能な企業経営をすすめたい
- そもそも何をすればよいかわからないなど

企業・団体等の課題解決のためのきっかけづくりとして、
当センターの事業に参画してみませんか?

まずは

いばらきダイバーシティ宣言

一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を
発揮できる社会を実現するため、広く企業や
団体から、それぞれが進めるダイバーシティ
の取り組みについて宣言を募集しています。宣
言は県のホームページで公表します。



(宣言バナー)

対象▶企業・事業所・団体、市町村等
(県外からの登録申請も可能です)
申込方法▶ホームページからご登録ください。



詳しくはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/declaration.html>

宣言の次は

いばらき ダイバーシティスコア

宣言
▼
スコアチェック
30以上
▼
スコアチャレンジ
企業登録へ



さらに

いばらきダイバーシティ スコアチャレンジ企業登録

いばらきダイバーシティスコアの活用に関する登録制度です。
登録を証明するデジタルバッジの付与があります。サイトや
名刺でD&Iの取り組みをアピールできます。また、当セン
ターのホームページでも紹介します。

※登録期間は2年間です。2年ごとに、更新の手続きが必要となります。

第3回募集期間

2025年12月1日(月)～2026年1月16日(金)まで

詳しくはこちら▶



<https://www.diversity-ibaraki.jp/scorechallenge/top.html>



いばらきダイバーシティスコア

企業等におけるダイバーシティ&インクルージョンの取組状況を「見える化」するためのチェックリストです。取り組みの推進指標として活用することができます。



スコアのダウンロードはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/declaration.html>

①「ジェンダーギャップ」

②「育児・介護」

③「多文化共生」

④「LGBTQ」

⑤「障害」

⑥「シニア」

⑦「全体」



107の項目をチェックしていただくことで、自社の強みと今後取り組むべき項目がわかります。

いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業登録への取り組みについて感想を伺いました

潮来市役所

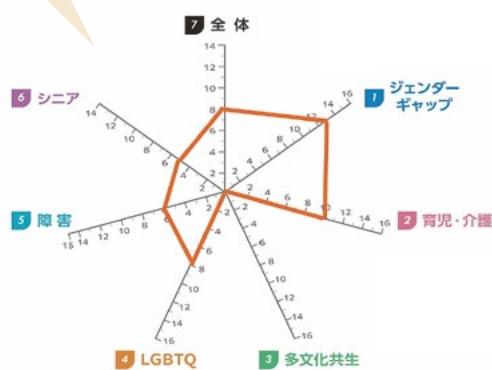
ダイバーシティスコア結果

スコア全体チェック表

分野	チェック数	チェック項目数
1 ジェンダーギャップ	13	16
2 育児・介護	10	16
3 多文化共生	0	16
4 LGBTQ	8	16
5 障害	6	15
6 シニア	5	14
7 全体	50	14

結果は、レーダーチャートの形になり、現状が把握しやすくなっています。

合計
50 / 107



ダイバーシティスコアチャレンジに取り組んで

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の重要性が高まる中、潮来市では、2023年度に「いばらきダイバーシティ宣言」、2024年度に「D&I推進講演会」の開催と「いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業」への登録を行いました。スコアチャレンジにより、多様な人材が活躍できる社会の実現に向けた、潮来市としての取り組み状況が明らかになりました。高いスコアを獲得した「ジェンダーギャップ」と「育児・介護」の分野については、これまでの研修会等を通じた職員の意識改革や、育休などの休暇制度の活用が着実に進んでいることを明確に知ることができました。令和6年度実績では、男性の育児休業取得率は66.6%、女性は100%に達しました。女性管理職の登用については、副市長を筆頭に部長職への登用も実現し、課長職以上で20.0%を超え、組織全体で多様な人材の活躍が進んでいます。一方で、課題となる多文化共生についても取り組みを進めています。現在、窓口での申請書類や説明文書の多言語対応や外国人の暮らしやすさを支える取り組みについて企業との情報交換を行っています。今後も、職員一人ひとりが活躍・成長できる環境づくりと、市全体のD&I推進の輪を広げていきたいと考えております。



企画政策課
門岡 美樹さん



積極的に育児をする男性職員



副市長協議の様子

茨城県男女共同参画に関する県民の意識と実態に関する調査

主な調査結果



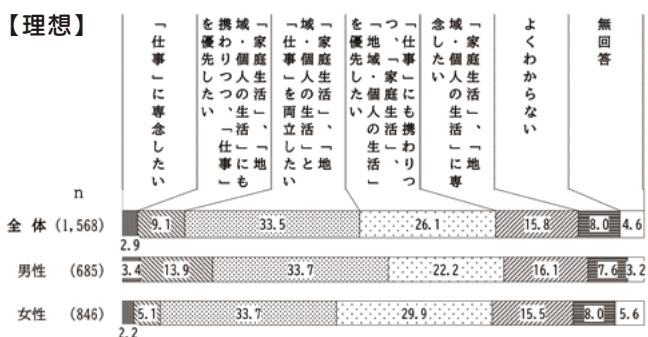
県民

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

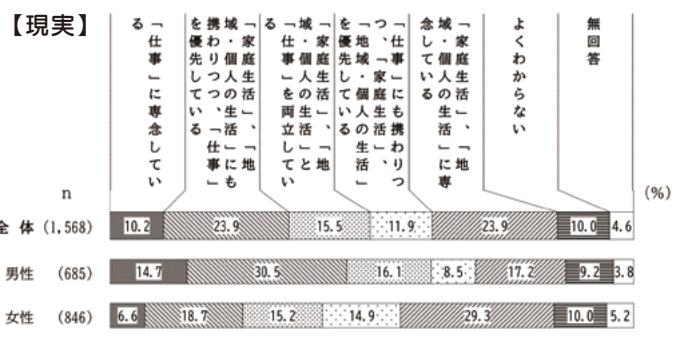
① 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の理想と現実

理想では「『家庭生活』、『地域・個人の生活』と『仕事』を両立したい」と考えているが、現実では「仕事」を優先、または「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念している傾向が見られる。

【理想】



【現実】



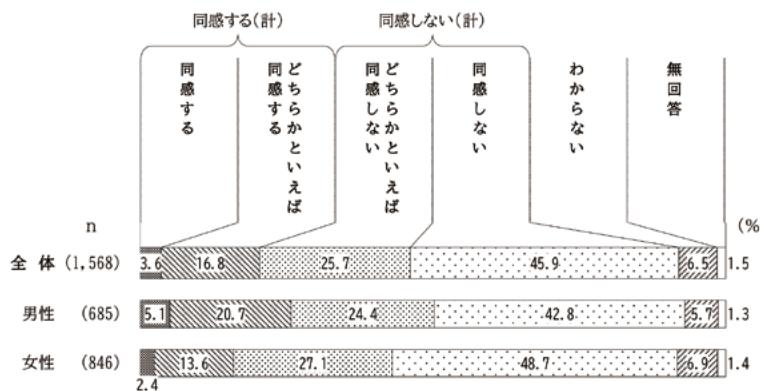
「家庭生活」、「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している=男性(30.5%)が女性(18.7%)より11.8ポイント高い
「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念している=女性(29.3%)が男性(17.2%)より12.1ポイント高い

② 性別役割分担意識(「男性は仕事、女性は家庭」という考え方)について

性別役割分担意識
(「男性は仕事、女性は家庭」という考え方)について同感しない人が7割以上を占めるも、性別でみると、男性が女性よりも8.6ポイント低い。

同感する(計)

同感しない(計)



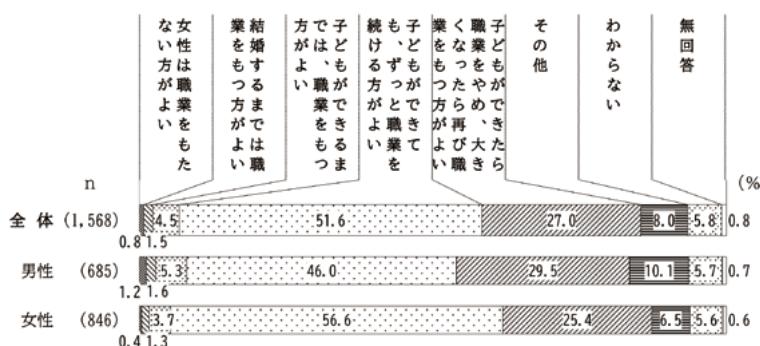
【全体】

同感する(計) 20.4%
同感しない(計) 71.6%
わからない 6.5%
無回答 1.5%

【男性】 同感しない(計) 67.2%
【女性】 同感しない(計) 75.8%

③ 女性が職業を持つことについて

全体では、「子どもがいても、ずっと職業を続ける方がよい」と考えている人が過半数を占めている。

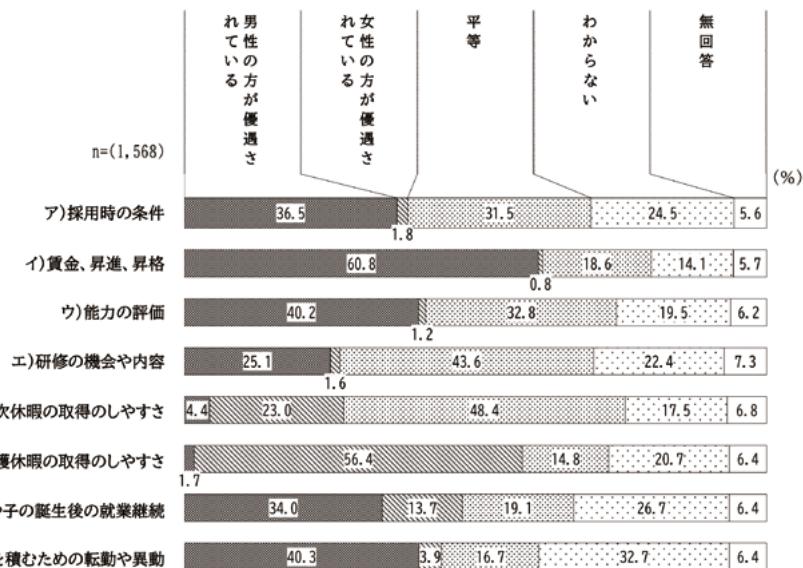


「子どもがいても、ずっと職業を続ける方がよい」は、女性(56.6%)が男性(46.0%)より10.6ポイント高い

就業について

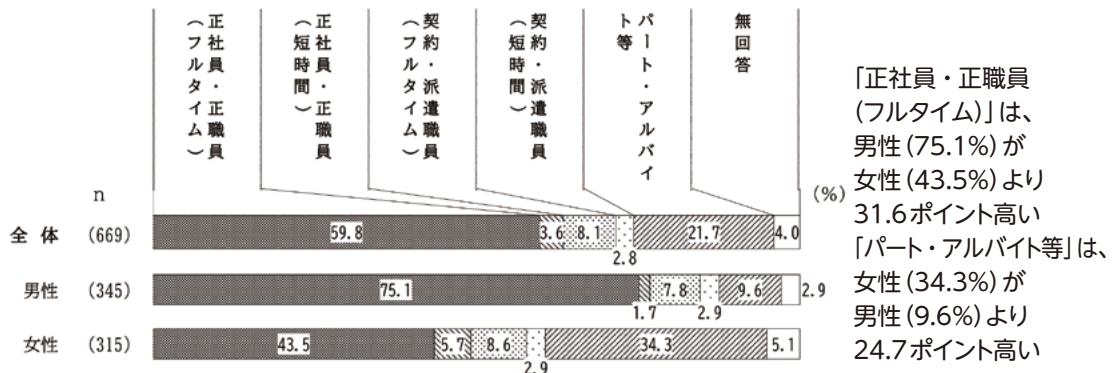
① 職場における男女の地位

『研修の機会や内容』、『年次休暇の取得のしやすさ』では「平等」が4割台と比較的高くなっているものの、『賃金、昇進、昇格』で「男性の方が優遇されている」が6割以上を占めるなど依然として職場において男性優遇を感じている傾向が見られる。



② 主な職業の就労形態

男女ともに「正社員・正職員(フルタイム)」が最も高くなっているが、女性は「パート・アルバイト等」が3割台半ば程度と男性に比べて高くなっている。



その他調査結果

- ◆夫婦の家事分担は50%が理想的であると考える人が過半数を占めるものの、現実の家庭においては家事分担が50%と回答した割合は、1割程度にとどまっており理想と現実に乖離が見られる。
- ◆「子どもを預けられる環境の整備」が、女性が出産後も退職せずに働き続けるために最も重要なこととして考えられている。
- ◆女性管理職の増加に向けて必要な制度や支援として、「男性も含めた長時間労働削減や、休暇取得促進への取組」が求められている。



調査結果の詳細は、こちらをご覧ください▶

https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/josei/danjo/documents/r6research_houkokusho.pdf



公開中

普及啓発動画

ダイバーシティ&インクルージョンについての普及啓発動画を公開しています。



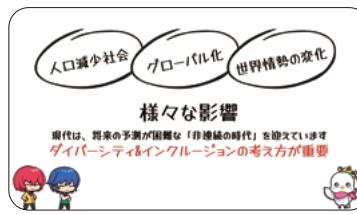
県民



ダイバーシティ&インクルージョンについて



アンコンシャス・バイアスについて



ダイバーシティ&インクルージョン
推進のために

ダイバーシティ
推進センター
公式YouTube
チャンネル▼



受付中 啓発チラシのデータ提供

市町村

★ アンコンシャス・バイアス啓発チラシ ★ デートDV防止啓発チラシ

★ わが家の「家庭の仕事」バランスチェックシート案内チラシ

★ ダイバーシティWEBゲーム案内チラシ

★ 女性に対する暴力をなくす運動啓発資料

詳細及び申し込みについてはホームページをご覧ください▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/activity.html#activity5>



各種相談のご案内

一人で悩まず、お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

相談は無料です
(別途通話料がかかります)

ダイバーシティ相談

配偶者・パートナー、職場などの人間関係や生き方の悩み事など、性別を問わずお受けします。
(公認心理師・臨床心理士が対応)

Tel.029-233-0070

相談方法
【電話/面接】要予約

毎月 第1・第3土曜日
13:00~17:00
(祝日、年末年始を除く)

性的マイノリティに関する相談

性的指向・性自認に関する様々な悩み事や不安などをお受けします。
(公認心理師・臨床心理士が対応)

Tel.029-301-3216

相談方法
【電話/メール】予約不要

電話▶毎週 木曜日
18:00~20:00
(祝日、年末年始を除く)

メール▶常時受付

女性のための総合相談

家族、夫婦、職場、地域等での悩み事や、男女共同参画に関する苦情や意見をお受けします。

Tel.029-233-7837

相談方法
【電話/面接】面接のみ要予約

毎週 水・木・金曜日
9:00~17:00
(12:00~13:00、祝日、年末年始を除く)

女性のための法律相談

離婚、借金、交通事故、相続などに関する法律相談を実施しています。
(女性弁護士が対応)

Tel.029-233-3982

相談方法
【面接】要予約

毎月 第2金曜日
13:00~16:00
(第2金曜日が祝日の場合は前日の木曜日)

ダイバーシティ推進センター
ぽ ら り す

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 県三の丸庁舎3階
茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」

Tel.029-233-3982 Fax.029-233-1330
<https://www.diversity-ibaraki.jp>

開館時間▶9:00~17:00

休館日▶土曜日/日曜日/祝日/年末年始

発行・編集／茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」
発行日／2025年12月15日



YouTube



LINE



Facebook

